

6月5日さいたま市長メッセージ

皆さんこんにちは、さいたま市長の清水勇人です。

5月10日に、女子サッカーの国際大会である、AFC女子クラブチャンピオンシップ2023決勝が開催され、三菱重工浦和レッズレディースがアジアの頂点に立ちました。また、WEリーグでも見事に連覇を達成しました。市長として、一人の市民として大変誇りにおもいます。

さて、さいたま市では、女子サッカーの普及・拡大に向け様々な取組を行っています。というのも、女子サッカーは全国的に小学生や中学生年代のチームが少なく、特に中学生年代でサッカーの継続をあきらめてしまう選手がいるという大きな課題があるからです。

「中学校に女子サッカー部がなくて、サッカーができる場所を探している」、「女子だけの練習会に参加したい」、こうした声に応えられるよう、さいたま市では、すべての女子選手が気軽にサッカーを楽しめる場として、プロチームのコーチの指導が受けられる合同練習会、「JFAなでしこひろば スマイルプロジェクト」を実施しています。

また、中学生年代の女子サッカー大会として、平成25年度からSAITAMA GIRLS MATCHを開催しています。今年の大会では、市内外から21チームが参加し、大変な盛り上がりを見せました。

さいたま市は、三菱重工浦和レッズレディース、大宮アルディー

ジャ VENTUS という、2つの女子^{じょし}プロチームのホームタウンです。
この強^{つよ}みを生^いかし、これからも「サッカーのまち さいたま」として、
女子選手^{じょしせんしゅ}のサッカーを好き^すな気持^きちを応援^もし、女子サッカーを盛り^{おうえん}
あ上げていきます。